



# System72 W-DAC mono x2 基板

この度は、W-DAC mono ×2 基板 キットをお買い上げ頂き ありがとうございます。  
組み立て前に、本説明書をご一読いただきますようお願いいたします。



PCM1792 x2基板

## ＜特徴＞

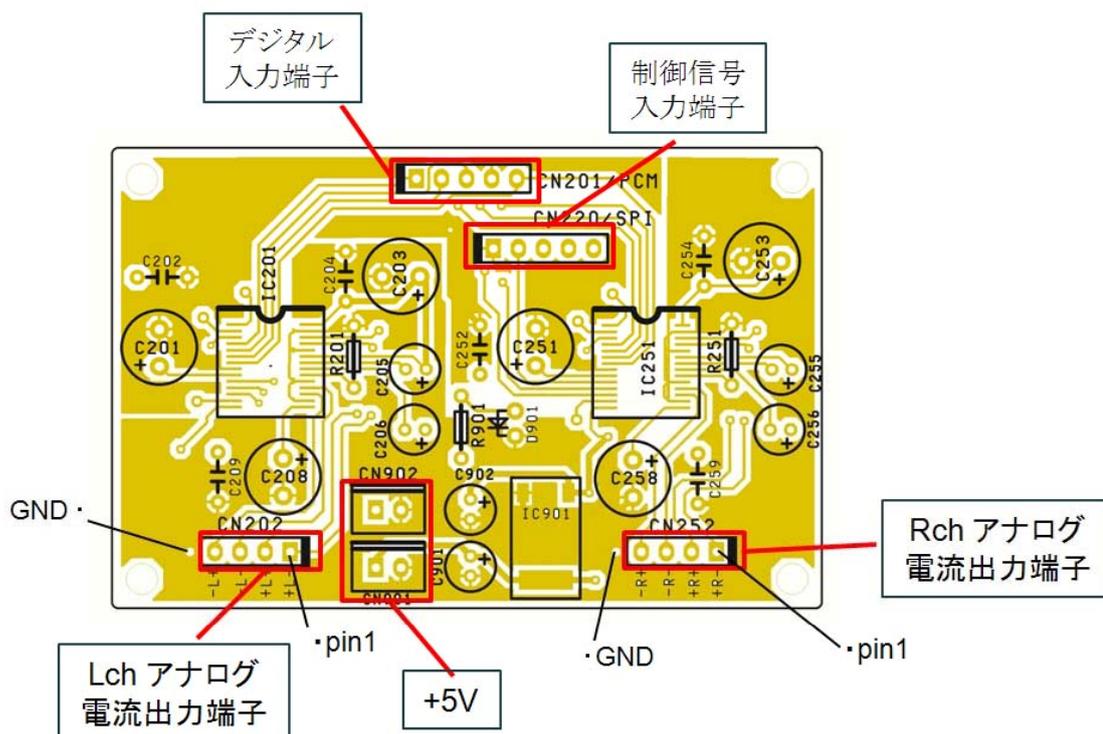
- DAIチップを2個載せました。それぞれのDACチップをMonoモードで動作させます。
- PCM1792/1796 ×2 ソフトモード版ですので 設定用制御基板が別途必要です。  
24bit、差動電流出力。 8倍オーバーサンプリング-デジタルフィルター内蔵。  
(同等スペックのPCM1794/1798 ×2 ハードモード版もあります。)
- 電源は+5V、基 板内に +3.3V ポイントレギュレータ内蔵しています。

## ＜動作のためには、以下のものがが必要です＞

- DAIが必要です。 組み合わせる DAI は、DIX9211 (制御基板セット) がお勧めです。  
\* Tiny461制御基板でも制御可能です。
- ソフトモードの制御には、上記 DIX9211とセットの制御基板で制御できます。
- DAC基板は電流出力ですから、I/V変換基板が必要です。 お勧めIV変換基板には、BBのFET型オペアンプ OPA604 を使用するタイプと TIのNE5534を使用するタイプがあります。

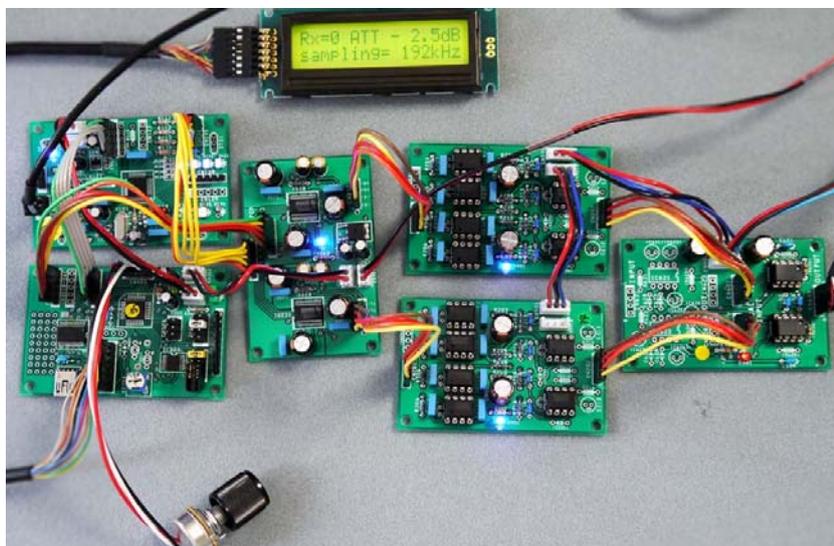
使用するケーブルやソケット,LED等の色が写真と異なる場合があります。

## W-DAC基板 部品 / コネクタ 配置図

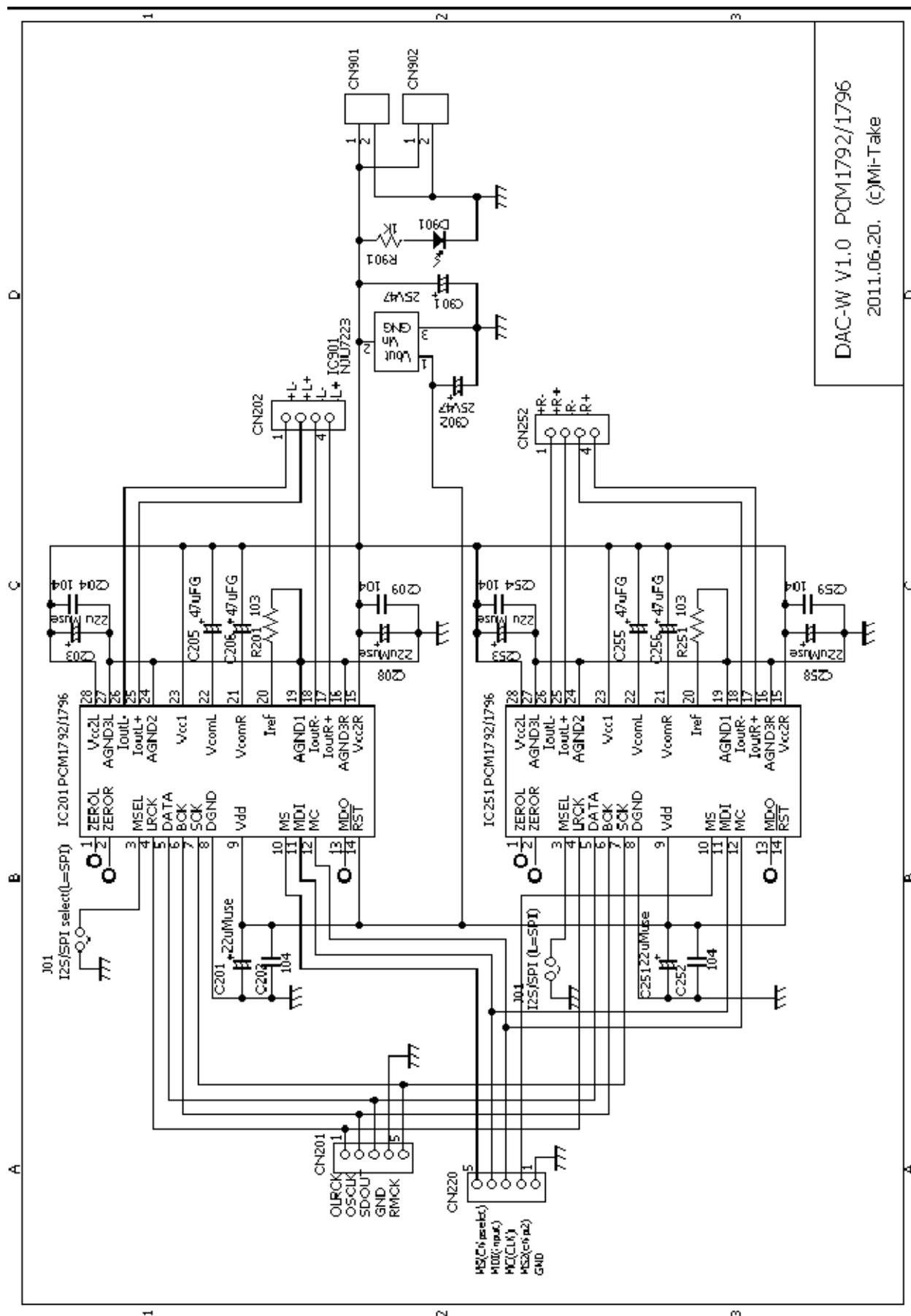


- ・ 制御基板からの制御信号は、CN220に接続します。
- ・ DAIからのPCM信号は、CN201に接続します。
- ・ +5Vのコネクタは並列接続されたコネクタが2個ありますので他の基板等へ分岐使用できます。
- ・ IV変換基板には、CN202、CN252 から接続します。  
CN202,250にはGNDラインがありませんのでグラウンドラインを別途接続したい場合は、それぞれのコネクタベースの端に GNDパターンがあります。  
通常、IV変換基板と当DAC基板は、電源でGNDが接続されますので考慮は不要です。

## W-DAC基板とDIX9211基板、制御基板、IV変換基板、差動バッファ基板の接続例



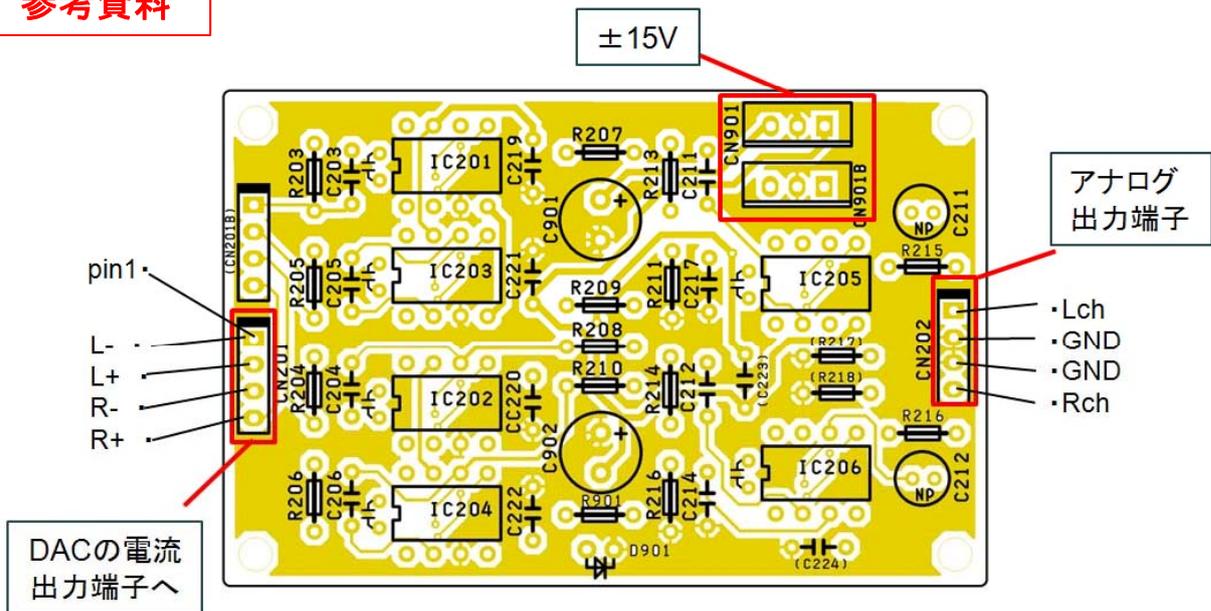
# W-DAC基板 参考回路图



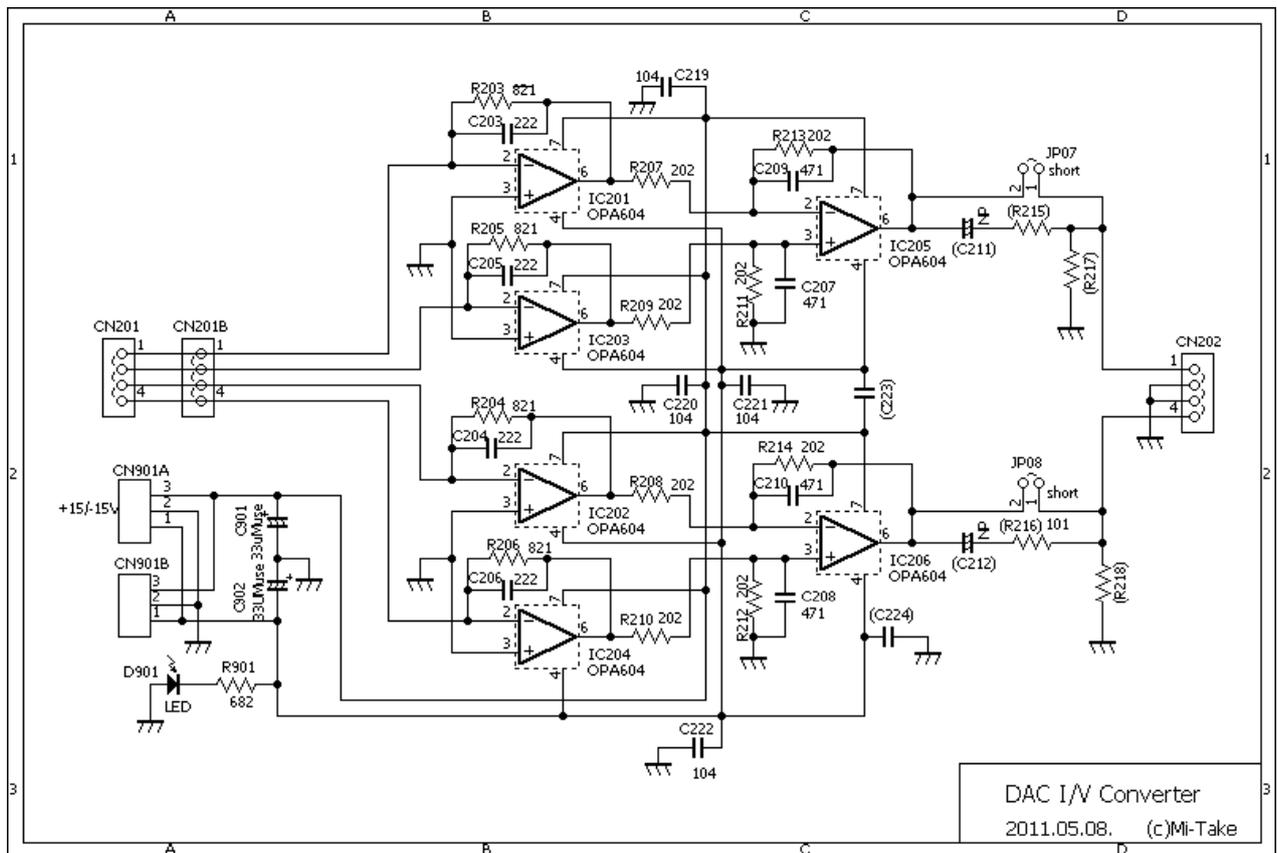
DAC-W V1.0 PCM1792/1796  
2011.06.20. (c)MI-Take

**IV変換基板  
参考資料**

**IV変換基板 部品 / コネクタ 配置図**



- ・ ±15Vのコネクタは 並列接続されたコネクタが 2個ありますので 他の基板等へ分岐使用できます。
- ・ DAC 基板(電流出力)とは、CN201 から接続します。
- ・ CN202 が アナログ出力(電圧)です。 W-DAC基板との組合せの場合は差動電圧出力となります。



履歴

Rev. 1.0 : 2011.07.24. . 1st release

・使用するケーブルやソケット等の色が写真と異なる場合があります。  
 ・性能改善のため 予告無く仕様が変更になる場合があります。  
 最新情報・関連技術情報を 下記 Mi-Take のホームページで  
 提供しています。 <http://www.mi-take.biz>